



2025 年度



D ライセンスコーチ養成講習会 女性②コース 報告書

日 程：2026年1月10日（土）
場 所：講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ
参 加 者：12人
チューター：西尾 真央・蒲 成人・井森 秀歩

【参加者の感想】

・「セーフゲーディング」について、初めて学ぶことができました。子ども達が安全に楽しくサッカーが出来るように環境を整える事は、私達大人の役割だと思います。楽しく出来るように、環境を整えたり、今日学んだことを活かして、自身の出来ることを増やして行けたらと思います。実技の面でも、実際自分でやってみると普段と同様に行かないことも多かったです。でも、チューターにたくさん声をかけていただけたおかげで、楽しく実技の時間を過ごすことができたと思います。本日は1日、ありがとうございました。
神野 奈津美さん(西郷FC)

・育てて勝つのか、勝って育てるのかという話し合いがとても心に残りました。子どもに対して上から目線にならず成長を喜びながら、一緒にサッカーを楽しんでいきたいと思いました。本日はありがとうございました。

中村 香織さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・今、子どものいる少年団の練習にたまに混ぜてもらいながら少しアドバイスをする中で指導にも興味を持つようになり今回受講を決めました。指導者としての心構え、基本を学ばせていただき、サッカーだけでなく家庭内での我が子とのやり取りでもあてはまる講習で、大人として言葉の選択と言い方一つ一つを気をつけようと思いました。実技はとにかく楽しく蹴らせていただき、声かけや練習の意味を知ることができました。指導者にならない人(子どもを預ける側の保護者)も指導者側の思いやサッカーをする子どもの気持ちが必ずわかるので受講してもらいたいと思いました。私自身もプレーする側だけでしたが、この講習で指導にさらに興味が広がりフィジカルトレーニングやサッカーをもっと知りたくなり次のCライセンスも受講してみたいと思いました。今日1日楽しく学ばせて頂きありがとうございました。

有我 みゆきさん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・今まで保護者として1歩引いた所で子供の成長を見守っていましたが、「指導者」としての意識を持ち、自分の子供だけでなく選手を平等に見つめ声掛けをして行きたいです。自分一人が行うだけでなく周りを巻き込み、指導者を増やして少年団を盛り上げたいです。

佐竹 志帆さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・練習ではコーチのさじ加減ひとつで練習の難易度が変わったり、声掛けでモチベーションが大きく変わったりすることがとても印象的でした。講義から実技までとても充実していて参加して本当に良かったです。今後指導者としてサッカーに関わることも視野にいれていきたいです。

【U18】河村 はなさん(岐阜県立恵那高等学校)

【担当チューターより成果と課題】

皆さん、ご参加いただきありがとうございます。参加者主体のディスカッションではたくさんの意見を出し合い、オープンマインドでお互いを尊重しながら話していたことが印象的でした。普段のサッカーの環境でも、安心安全に子どもたちの目線になって寄り添っていけるよう、今後もサッカー指導者として一緒に学んでいきましょう。

西尾 真央

【講義・実技の様子】



報告日：2026年1月14日 作成者：西尾 真央